

こたえ きの おの

はっけん 発展 ③

きの おの (イソップのおはなし)

きこりが、川のそばで木をきっていました。
ところが、手がすべって、おのを川に落としました。

こまって、いると、川からかみさまがあらわれました。

「おまえがおとしたのは、このきののおのか。」

「いいえ、ちがいます。」

「では、このぎんのおのか。」

「いいえ。わたしのは、ふるいてつのおです。」

かみさまは、しょうじきなきこりに、三本のおのを
ぜんぶくれました。

① きこりは、なにを川に落としましたか。

おの

② 川からあらわれたのはだれですか。

ア きこりのともだち

イ かみさま

ウ さかな

③ きこりのおのは、なんのおでしたか。

てつ

の おの

④ かみさまが三本のおのをくれたのは、どうしてですか。

きこりがしょうじきだったから。

⑤ きこりは、どんな人ですか。

ア うそをつく人

イ しょうじきな人

ウ なまけもの人

おうちの方へ

- 4は、さいごの文の「しょうじきな」ということばから答えます。